学びのデザインシート (授業前)

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【保健体育科/保健】

- 1. 対象:知的障害 高等部 1.2 年生 26人
 - ・全員に軽度知的障害があり、卒業後に就労(企業就労、福祉的就労)を目指している集団。
 - ・運動部に所属する生徒が多いが、授業以外はほとんど運動をしない生徒も数名おり、BMIの数値から肥満傾向に属する生徒も数名いる。
 - ・生活面(衛生面、生活リズム)や食事面がやや心配な生徒もいる。飲酒や喫煙を身近に感じる生徒もいると考えられる。
 - ・実態差はあるが、学習に興味をもち、自分の意見を小グループの学習で発言したり、書いたり できる生徒が多い。
 - ・事前アンケートを行ったが、がんを扱うにあたり特に配慮の必要な生徒は出なかった。
- **2. 単元名**「がんを学ぼう~自分と大切な人のために~」(全3時間)
- 3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	がんの種類や要因、予防法などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。
思考力,判断力, 表現力等	健康に関わる生活習慣の課題を見つけ、よりよい解決のために思考し判断した ことを、他者に伝えようとしている。
学びに向かう力, 人間性等	がんが身近な病気であることがわかり、がんとの向き合い方や社会的な対策(検 診や情報サービスの整備など)に関心をもち、生活改善や話し合いに主体的に取 り組もうとしている。

- 4. 本時の目標 ※「5」を単元で作成する場合は省略可能。
- 5. 授業展開【本時・【単元】】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

・こわいイメージのがん、日本人の2人に1人がかかる病気…原因や予防の仕方を知りたい。

(授業①)

- ・日々の生活習慣(食事や運動など)が将来のがん(含生活習慣病)の要因になる可能性を知り、自分ができる望ましい生活習慣を考えることができる。(しょっぱい物が好き、野菜・果物をあまり食べない(好きでない)、体育の授業以外はほとんど運動しない、お酒やたばこに興味があるなど) (授業②)
- ・健康に関心をもつと共に、がんやがんに関する様々な情報を正しく知り、将来の望ましい生き方 やがんになった方との関わり方を、考え表現しようとする。(卒業後の働く生活での健康対策、が んと共にその人らしく生きてほしい、という思い) (授業③)

考えるための材料

○高等学校教科書、文部科学省の資料 (「がん教育推進のための教材」「がん教育プログラム」) (動画・スライド)

※データ資料やインタビューなど、生徒が興味関心を抱く材料

想定される活動

- ・クイズのような発問で、主体的に参加したくなる。
- ・「今が健康だから、病気についての学習は興味ないと思っていたけれど、将来の健康は今から考えていくことが大切」と気付く

対話と思考(対話を通した協働的な問題解決のプロセス)

○設定する対話の方法 (グループ形態、時間設定、留意事項など)。

[授業②] 1 グループ 3 名 (全員が主体的に参加できる人数)

- 考えを付せんに書いて共有する
- ・問い→回答→意見交換の流れで学習にリズムをつくり、主体的に考えられるようにする
- ・順番に発表の場面を設ける

[授業③]インタビューの映像を通して、がんになった人の気持ちや声のかけ方を想像(思考)して対話する(実際の対話ではなく、考えたことをワークシートに記入)

対面する (美味の対面ではなく、考えたことをサーケンートに記入)		
○対話や思考のプロセス (具体的な子どもの言葉や行動等で想定)。		
授業 ②	・自分が好きな食べ物や生活習慣が、がんによくないことがわかった。 ・がんのリスクを減らす健康習慣、長く働くために気をつけること 「カップラーメンなど、好きな物ばかり食べない」「野菜も食べるようにしたい」	
授業	・家族など、身近な人ががんにかかったときの関わり方 「つらい気持ちを一緒に受け止めたい」 「家族が休めるよう、家事をやるようにしたい」 「これまでと同じように関わるようにしたい」	

⇔図の出用 (丞相といて仕供のよとわれ)		
学習の成果(予想される生徒のあらわれ)		
授業①	「がんはこわいイメージだったけれど、早く見つかれば助かることがわかった。」	
	「がんについてもっと詳しく知りたい。」	
授業②	「お肉やウインナーなどの加工品が好きなので、塩分に気をつけ魚や野菜も食べるよう	
	にしたい。」「大人になっても適度に運動をして、適性体重を保ちたい。」	
	「たばこに興味があったが、よく考えたい。」	
	「ストレスを抱えないようにしたい。」	
	「働くようになったら、健康診断を受け、早期発見ができるようにしたい。」	
授業③	「病気のことばかり考えていると辛いから、明るく関わりたい。」	
	「家族ががんになっても、今まで通り関わるようにしたい。」	